

令和3年度進行管理・評価シート
桐生市歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）
（最終変更 令和4年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画に関する施策		2
2 景観計画による景観誘導等		3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 伝統的建造物公開活用事業		4
2 歴史的風致形成建造物保存整備事業		5
3 伝統的建造物保存修理事業		6
4 伝統的建築物保存技術継承支援事業		7
5 本町通り整備事業		8
6 桐生新町伝建地区及び周辺整備事業		9
7 景観阻害物調査改善事業		10
8 伝統産業周知啓発事業		11
9 伝統産業保護育成事業		12
10 地場産業振興事業		13
11 織物体験事業		14
12 祇園屋台・鉾伝承活用事業		15
13 無形民俗文化財伝承支援事業		16
14 歴史まちづくり推進啓発事業		17
15 「桐生を好きな子供」を育てる事業		18
16 歴史的建造物調査活用事業		19
17 文化財保存活用地域計画策定事業		20
18 歴史文化資料公開事業		21
19 文化財案内標識整備事業		22
20 観光案内等情報提供事業		23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存又は活用の現況について		24
2 文化財の修理に関する取組み		25
3 文化財の防災に関する取組み		26
4 文化財の普及・啓発に関する取組み		27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		28
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 ファッションタウン桐生推進協議会との連携について		29

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		30
-------------------------	-------	----

評価軸①-1

組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
現在の状況		
計画の推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

歴史的風致維持及び向上を推進のために、関係各課課長で組織する「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を引き続き設置し、担当部局との連絡調整や実施状況の管理と評価を行う。また、国・県との関係機関との協議を行を行うと共に、「桐生市歴史まちづくり推進協議会」において、事業の進捗状況や計画変更等にかかる協議を行う。必要に応じて都市計画審議会や文化財調査委員会、市民団体などと連携を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

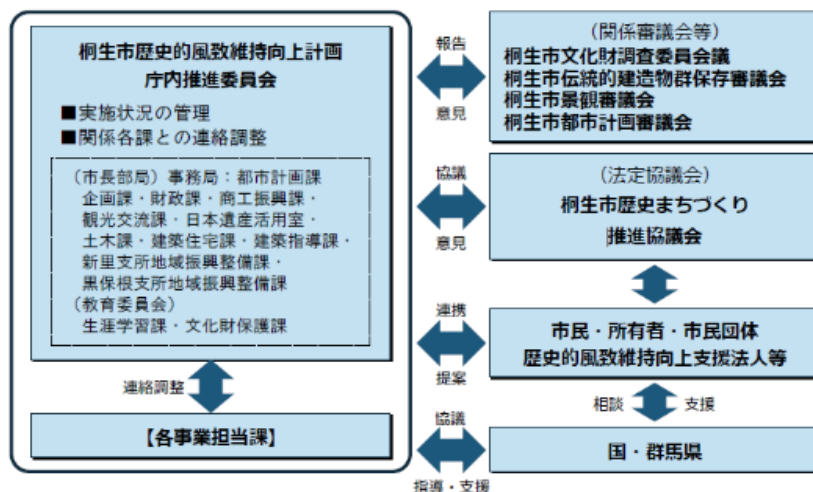
年度内事業進捗状況の報告、歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取、計画の軽微な変更と進行管理評価シートに関する意見聴取を図るため、令和3年7月(書面開催)、令和4年2月(書面開催)「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を実施、また令和3年8月(書面開催)、令和4年3月(書面開催)に法定協議会である「桐生市歴史まちづくり推進協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



○第14回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会
 (令和3年7月書面開催)

- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
- ・歴史的風致形成建造物の指定について

○第15回桐生市歴史まちづくり推進協議会
 (令和3年8月書面開催)

- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
- ・歴史的風致形成建造物の指定について

○第15回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会
 (令和4年2月書面開催)

- ・進行管理・評価シートについて
- ・軽微な変更について

○第16回桐生市歴史まちづくり推進協議会
 (令和4年3月書面開催)

- ・進行管理・評価シートについて
- ・軽微な変更について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

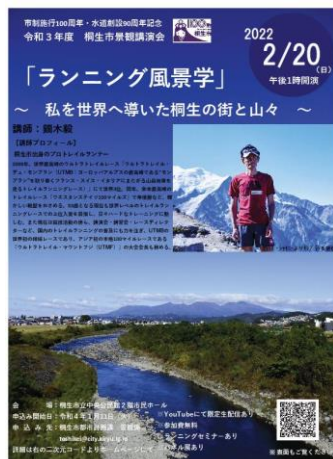
項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
都市計画に関する施策		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	・重点区域は、桐生都市計画区域の市街化区域内で、桐生地区の中心市街地に位置している。重点区域の中心には、本町通りを中心に形成された桐生新町伝建地区が都市計画決定されていることから、中心市街地としての都市機能の集積と歴史的な町並みの保全との両立を図っている。 ・都市計画マスタープランにおける目標の1つとして「歴史・文化資産を活かした魅力的なまちの形成」を掲げ、「拠点」「都市軸」などの構成要素を基本に歴史・文化資産を活かした魅力的なまちの形成を推進するとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成23年度に伝建地区の町並みや地割を保存するため同地区内の都市計画道路(本町線・稲荷橋線の一部)を廃止し、伝建地区の通過交通の抑制を図りつつ円滑な交通網の構築を図るため幸橋線の現道拡幅整備を進めた。 ・桐生市の玄関口である新桐生駅について、首都圏等からの観光需要を見据え、重点区域を含むまちなかへの円滑な誘導と交流人口の拡大による地域活性化を図るため、交通結節点としての機能強化と良好な景観形成による駅前広場整備を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸②-2

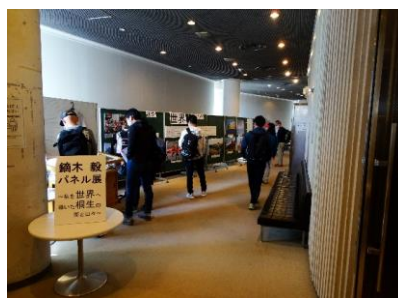
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
景観計画による景観誘導等		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	桐生市景観計画における良好な景観の形成に関する方針では、地域の特徴や個性を生かした景観形成を図るため、市域全域を6つのゾーンに分け、ゾーンごとの景観形成誘導基準や色彩基準を設けている。重点区域にも含まれている「歴史景観」ゾーンでは、他ゾーンより厳しい色彩基準を設けるなど歴史的資源が周辺景観と調和が図られるように誘導し、より魅力的な景観の形成と保全を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成28年に制定した「桐生市景観計画」に基づき、良好な景観形成のため規制誘導を実施した。市域全体を景観計画区域とし、対象となる規模の建築行為等について届出を課し、色彩基準や意匠等について助言を行い景観誘導を図った。 本年度届出件数:31件(令和3年12月14日現在)のうち、重点区域内2件・歴史景観ゾーン内0件 ・多くの方に景観を意識し、考えていただく機会とするため、令和4年2月20日に景観講演会を会場参加とオンラインによる生配信の2パターンで開催し、桐生市出身プロトレイルランナー 鍋木毅氏へご講演いただく予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和4年3月21日に延期し、開催した。また、関連イベントとして、鍋木毅氏によるランニングセミナーを新川公園(2/20開催予定から3/21へ延期)で、鍋木毅氏のパネル展を市役所2階市民サロン及び中央公民館ホール前にてそれぞれ開催した。(1/12～2/7 桐生市役所2階市民サロン、3/21中央公民館ホール前) ●講演会参加者 60名、当日配信視聴者 21名、講演会の見逃し配信視聴者(3/28まで実施) 325名、ランニングセミナー参加者 27名 ・景観の理解を深めていただくため、桐生市も出展している「ぐんま景観・まちづくり展」のチラシを作成し、窓口などで配布するなど、周知活動を行った。(Youtubeによる動画配信) 新型コロナウイルスの中、延期とはなかったが、会場参加とオンラインによる生配信の2パターンで景観講演会を開催し、日程変更を行ったのにも関わらず、多くの方にご参加をいただき、桐生市の景観行政について周知することが出来た。			

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・今後も、景観の形成と保全を推進するための取組を検討・研究していく。 ・オンラインでの開催は、初の試みとなり、機材トラブル等の課題があったため、次回以降に活かせるよう検討、研究を進めていく。
状況を示す写真や資料等	



景観講演会チラシ



景観講演会、ランニングセミナーの様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目	現在の状況	
伝統的建造物公開活用事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和8年度	
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業	
計画に記載している内容	地域の歴史や伝統産業に関する資料展示等を行い、当地区の歴史的な価値について理解を深めるために、補助金を活用して桐生新町伝建地区にある伝統的建造物を取得し、活用を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○重伝建地区公開活用施設整備事業実施設計業務 公開活用施設整備工事に向けた実施設計を実施した。 ○重伝建地区公開活用施設修理委員会の開催 実施設計及び整備工事の施工方法などに対する専門的な指導助言と合わせ整備工事に必要な事項を検討することを目的として修理委員会を設置。令和3年度は3回開催。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	○今後の事業予定 ・保存修理工事(令和4年度～令和5年度)	
状況を示す写真や資料等		
●重伝建地区公開活用施設整備事業実施設計業務 ○契約日:令和3年4月26日 ○契約期間:令和3年4月27日～令和4年2月28日 ●「重伝建地区公開活用施設修理委員会」の開催 【委員構成】 ○学識経験者 ・後藤 治(工学院大学理事長) ・木村 勉(長岡造形大学名誉教授) ・横内 基(国土館大学准教授) ○市関係課 ・建築指導課長 ・建築住宅課長 ・予防課長 ・文化財保護課長 ・観光交流課長 【開催概要】 ○第1回 ・開催日 令和3年5月24日(月) 午前11時から ・場 所 桐生市市民文化会館 国際会議室 ○第2回 ・開催日 令和3年10月4日(金) 午後3時30分から ・場 所 桐生市職業訓練センター 第1, 2会議室 ○第3回 ・開催日 令和4年2月17日(木) 午後2時30分から ・場 所 桐生市市民文化会館 国際会議室		
 整備対象建物 (旧眞尾邸)		【位置図】  ＜桐生新町重要伝統的建造物群保存地区＞
 会議の様子		

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
歴史的風致形成建造物保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定し、建造物の価値を高め、所有者の意識付けや観光資源としての活用を図る。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・計画書記載の歴史的風致形成建造物候補18件のうち、下記の3件の建造物について指定を行った(R4年2月8日指定)。なお、指定標識は、歴史的風致である桐生織の技術により、その指定建造物を背景に織り込んだ桐生織標識を採用した。
 ・コロナ禍のため、一部の歴史的風致形成建造物を紹介する動画を作成し、市の公式YouTubeチャンネルで配信した。
 これまでの指定件数・・・計11件(H30年度:3件、R元年度:3件、R2年度:2件、R3年度:3件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○指定した歴史的風致形成建造物



指定番号9: 旧堀祐織物工



指定番号10: 旧堀家住宅



指定番号11: 金善ビル

○動画配信



指定番号4: 西桐生駅



指定番号5: 美和神社



指定番号6: 西宮神社

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
伝統的建造物保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～令和8年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容 桐生新町伝建地区の特定物件の保存修理を実施する事業者に対し、修理に掛かる経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は保存修理事業の実施はなかったが、令和4年度に予定されている保存修理事業や修景事業の実施に向け、建物所有者や設計業者と修理計画の検討や打合せを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

・保存修理事業(補助制度)の主旨について、事業者(建物所有者)の理解を深めることが必要
 ・保存修理を行う技術者の確保(養成)が必要

状況を示す写真や資料等

●保存修理事業の状況

【参考:令和2年実施の保存修理物件(森買場長屋)】



修理前



修理後

【位置図】



< 桐生新町重要伝統的建造物群保存地区

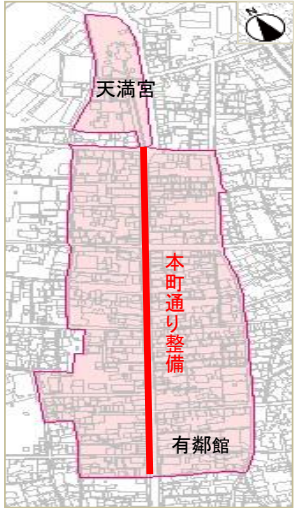
評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
伝統的建築物保存技術継承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物の保存・活用の促進に向けて、伝統工法や技術を継承するための専門家を育成する団体等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は伝建地区において保存修理事業がなかったこともあり、伝統工法等の継承支援に対する取組みはなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		☐ 今後の活動内容や実施体制について ・一定期間の研修を終え参加者それぞれが各現場にて実践の段階に移っており、今後の活動については、実際の現場の中からの発生する課題等を整理し検討していきたい。 ☐ 実施体制の課題 ・伝統工法について関心を示す技術者が少なく、新たに研修参加が見込めない。	
状況を示す写真や資料等			
●研修活動の参加者が携わった保存修理事業			
			
既存瓦を使用するための選別状況		土壁下地修理状況	
			
瓦葺き施工状況		葦下地修理状況	

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
本町通り整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和5年度	
支援事業名	防災・安全交付金(道路事業)	
計画に記載している内容	桐生新町伝建地区内の本町通りを、歴史的な町並みとの調和を図るために、電線類地中化と歩道整備を行い、舗装等の美装化を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○電線地中化の際に支障となる下水道本管の移設工事を実施 ・工事期間: R1年度～R4年度 ○本町通り西側歩道下の水路遺構について、電線地中化に伴い抵触する箇所について発掘調査を実施 ・調査期間: H29年度～R2年度 ○電線類地中化工事を実施 ・工事期間: R1年度～R5年度 ○試験舗装を実施 ・施工場所 本町一丁目地内の一部 ○電線共同溝事業説明会(地元説明会)の開催 ・本町1丁目町会、本町2丁目町会において各1回開催		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	工事の実施に伴う、地元や関係機関との調整が課題であり、事業期間内に完了するよう調整に努める	
状況を示す写真や資料等		
●本町通り 道路空間計画イメージ		【位置図】
 整備前	 整備後	
本町一丁目		
 整備前	 整備後	
本町二丁目		
<桐生新町重要伝統的建造物群保存地区>		
●試験舗装の様子		
 全景	 拡大	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目			現在の状況
桐生新町伝建地区及び周辺整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)・市単独事業		
計画に記載している内容	周辺景観に配慮した市道の美装化や歩道整備とともに、地域の魅力を満喫できるよう周辺環境整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・山手通り歩道美装化工事、桐生が岡公園下広場(藤棚広場)整備工事を行った。 ・歴史的風致形成建造物に関する情報板を6基設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

桐生が岡公園下広場(藤棚広場)整備工事現



山手通り



評価軸③-7

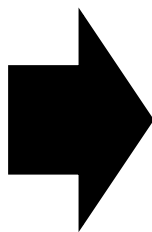
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
景観阻害物調査改善事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	桐生市景観計画を策定し、群馬県から屋外広告物条例を移譲されたことから、景観を阻害している建築物や屋外広告物の改善に向けて現状調査し、実態を把握したうえで指導や相談を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・屋外広告物の設置基準に適合しないものや未手続の広告物の表示者に対して改善要請を行い、景観を阻害する屋外広告物の改善に努めた。〔指導件数26件(令和3年12月28日現在)〕 ・違反広告物把握のため定期的なパトロールの実施や、違反簡易広告物の除却活動を行い良好な景観の保全に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



指導前



指導後

・基準に適合するように高さ、表示面積、表示内容を改修した。



※国道50号 神明交差点(桐生市広沢町3丁目地内)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
伝統産業周知啓発事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成24年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 織物にゆかりの深い建物を活用して織物産業関連資料を展示し、織物に関する歴史や技法の理解を深める機会を創出する。また、伝統産業における各工程や技法を、ホームページや動画等、各メディアを活用しながら、情報発信を行うとともに、見学や体験イベントなどを通して、周知啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

織物を中心とした郷土資料展示を桐生織物記念館において継続実施し、企画展示を3回実施したが、桐生織の技術を知ってもらうため「桐生織伝統工芸士の技」展は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。また、市のホームページには、桐生織物の製造工程の詳細や動画を継続掲載した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



企画展の様子



市のホームページには製造工程も掲載

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
伝統産業保護育成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和39年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市の伝統産業である繊維産業は、生活様式の変化等による需要の変化への対応や技術の継承が課題になっているため、新商品の開発や新たな販路の開拓により、経営体質強化を図る。また、桐生織物に携わる職人の高齢化や新規就労者も少ないことから、伝統技術の継承や後継者を育成する環境を整えることで、伝統産業を保護・育成を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
桐生織物の新製品開発や宣伝、展示発表等各事業に係る経費に対して桐生織物協同組合や桐生刺繍商工業協同組合に対し補助を行った。補助金名称:需要開拓事業補助金(桐生織物新製品開発)(桐生織物宣伝)(国内婦人服地新製品開発)(刺繍展)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 桐生織物織姫展  桐生織物織姫展  桐生テキスタイルコレクション 		

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
地場産業振興事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和62年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	繊維産業などの地場産業の振興・育成・発展を目的に公益財団法人桐生地域地場産業振興センターに対する運営経費の補助とともに、商品開発、情報収集提供事業補助、人材育成等支援事業補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
運営費の補助を行うと共に、桐生産地における繊維産業の展示事業(桐生テキスタイルプロモーションショー)や情報収集提供(専門家を招いたトレンドセミナー)、後継者育成を目的とした繊維大学など各事業に対して補助を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



繊維大学の様子



トレンドセミナーの様子



テキスタイルプロモーションショーの様子

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
織物体験事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	「桐生織 伝統工芸士」及び桐生織物協同組合事務局職員が学校へ出向き、学年単位で織物の仕組みや織物製品、伝統工芸品の特性、技法、原材料についての講話を行う。また、児童一人一人が実際に織機を使い、その仕組みを学びながら、織物製品を手織りで製作する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講師が小学校に出向いての織物体験は中止となった。その代替として、伝統工芸士が作成したタペストリーと機結びキットを実施学年(3年生または4年生)に送付し、昨年度配布した「織物体験DVD」を視聴しながら織物の仕組みについて学んだり、機結びの体験をしたりする活動を行った。さらに今年度は、希望する学校に伝統工芸士とのオンライン学習を実施し、織物についての児童の疑問などに伝統工芸士が答える機会を設けた。毎年配布しているパンフレットを、社会科や総合的な学習の時間において、織物の学習をする際に活用してもらった。(市内17校約630名) ○市内の中学校特別支援学級に在籍する生徒が工房「風花」に集まり、回転整型式手織機「フラミンゴ」で手織り体験を行い、一人1作品のコースターなどを制作した。(生徒のべ約50名) ※感染症対策を講じて参加者を2日に分けて実施。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		今後も感染症拡大の状況により、講師が学校に出向いての実施や、道具を共有する活動ができないことが考えられる。今年度同様に、時期や内容(代替の活動)を検討していく。

状況を示す写真や資料等



伝統工芸士による桐生織りのお話



学校とのオンラインの様子



手織りの実演

<学校からの資料活用アンケートより>

○「桐生織物伝」(DVD)とパンフレットは、校外学習(織物参考館「紫」の見学)の事前・事後学習で使用した。

○パンフレットは、国語のリーフレット作りの学習の参考資料としても活用した。

○機結びは、最初はきちんと結べない子が多かったが、何回かチャレンジしてできるようになった。とても集中して取り組んでいた。

○「織物体験DVD」を見た後に、送付されたタペストリーを実際に触らせ、手触りなどを体感させた。縦糸と緯糸の仕組みを知るために、スズランテープで織物体験も行ってみた。

○オンライン学習の事前指導として、「桐生織物伝」(DVD)を見せた。1学期に見学した彦部家住宅で聞いた話とつながり、理解しやすかった。

○オンラインで機織りの実演を見て、「やってみたい」「すごい」と児童が興味深そうに見ていた。質問にもすぐに答えてもらえてありがたかった。

○オンライン学習では、機織りの手元や足下がよく見えて、児童が集中してよく見ていた。

○「織物体験DVD」で機織りの様子に興味を持った児童が多く、オンライン学習を楽しみにしていた。事前学習で気になったことについて質問できたので、児童にとってより大きい学びとなった。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
祇園屋台・鉾伝承活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 江戸文化を色濃く残した桐生祇園祭において、本町各町会で所有している祇園屋台と鉾の損傷している部分を修理したうえで、文化財指定や常設展示を含めた公開方法について検討する。また、桐生祇園祭の次世代の後継者を育成するために、子供たちを対象としたお囃子の講習会や桐生祇園祭の歴史・風習を学ぶ講座を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 祇園屋台等の修理及び一般公開
- ・本町三丁目祇園屋台建具修理の実施
※昨年度に引き続き本町三丁目祇園屋台において、今年度は建具部分を修理
- 祇園囃子継承者の育成
- ・練習会の実施(6回実施)・発表会の開催(令和4年3月実施)
 - ・県市共催イベントで演奏会を開催(令和4年2月5日)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

- ・祇園屋台の組み上げ及び修理ができる技術者の育成
- ・祇園囃子の演奏者の育成と合わせ、指導者の育成も必要

状況を示す写真や資料等

●屋台建具の修理



屋台全景(前面)



拡大

屋台建具修繕箇所(一例)

●祇園囃子の練習会・発表会の状況

桐生市 歴史的風致維持向上施設活用推進事業

桐生市 歴史的風致維持向上施設活用推進事業

小学生・中学生・高校生
町民のみなさんへ

おはやし練習生募集

定員 30人
対象 小学生以上
練習日 11月21日(日)・12月5日(日)
12月19日(日)・1月16日(日)
1月30日(日)・2月13日(日)
計5回 毎週土曜午後2時～4時

会場 共栄会館(本町三丁目・自衛隊所)
募集期 令和4年3月下旬(予定) 場所 緑庄
主催 桐生の文化遺産継承推進事業実行委員会
後援 桐生市

【お申し込み・お問い合わせ】 桐生市役所観光文化課 歴史遺産推進課まで
TEL/(0277)4613001 FAX/(0277)4613002 E-MAIL/tokushimachy@city.kaiyohi.lg.jp
TEL/(0277)4613111(内線346)

FAX申し込み書 (0277) 43-1001 (桐生市役所観光文化課 歴史遺産推進課)

お申し込み・練習生に必要です

姓 名 _____ 年齢 _____ 性別 _____ 学年 _____ 住所 _____
 保護者名 _____
 電話番号(〒 _____) _____
 電子メール _____ FAX _____

練習生募集チラシ



練習会の様子

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
無形民俗文化財伝承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市指定の文化財に限り、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら老朽化により保存や更新が難しくなっている祭礼・行事で使用する用具等の更新支援や修理のための情報提供を行う。また、資金不足や後継者不足により、記録化が図られていない祭礼・行事について、調査・研究を進めて記録化の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、無形民俗文化財に係る用具等の更新や修理などについての相談はなかったが、今後、相談等の申し出があれば、修理方法や補助等の支援も含め情報を提供していく。 指定・登録に該当するような文化財があれば事前に調査を実施し、記録保存も行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、用具の更新及び修理方法等の情報提供や、祭礼・行事の記録保存については今後も実施していく。		
状況を示す写真や資料等			



賀茂神社太々神楽



桐生和紙生産技術



白瀧神社太々神楽

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
歴史まちづくり推進啓発事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市の歴史文化資産や歴史まちづくりに関連するシンポジウム・講演会・バスツアー等を開催する。また、歴史的風致維持向上支援法人の設立を視野に、歴史まちづくりに関連する事業について、本市との適正な役割分担のもとで事業を遂行できるまちづくり団体等の設立を支援する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、歴史まちづくり歴史的風致に関する内容(市域変遷、桐生あびす講)に関する「歴史まちづくり動画」を作成し、市の公式YouTubeチャンネルで配信した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後は、感染状況等をみながら慎重に判断し、その時に実施可能なイベント等を検討していきたい。	
状況を示す写真や資料等		



桐生市歴史まちづくり動画(市域変遷)



桐生市歴史まちづくり動画(桐生あびす講)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
「桐生を好きな子供」を育てる事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成13年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	「桐生を好きな子供」を育てる事業における歴史や文化遺産の体験事業により、地域住民との交流等を通して桐生の歴史や伝統文化に直接触れる様々な活動体験を行い、郷土愛を育成する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・桐生に愛着と誇りを持ち、将来にわたって活躍できる子どもの育成に重点を置いた様々な取り組みを、教育委員会及び市長部局の各部署、各学校及び幼稚園において実践し、それらを報告書にまとめた。その中で、桐生の歴史や文化に関連する事業23件を実施した。(令和3年度から事業の分類区分を変更。) ・子どもが地域の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後等に安全に安心して活動する拠点を設け、各地域の特色や人材を生かした体験・交流活動、学習等を行う「放課後子供教室」において、昔遊びを実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	公民館や放課後子供教室などの活動内容について、桐生の歴史文化に関連したプログラムを検討する	
状況を示す写真や資料等		



図書館 桐生に伝わる民話を聞こう



放課後子供教室 竹で作る水鉄砲で遊ぼう！



門松作り教室

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目	現在の状況	
歴史的建造物調査活用事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	地域固有の歴史的資源である歴史建造物の保存活用のため現地調査と活用に向けた相談体制の構築を図る。また、空き家空き地バンクにおける情報提供の充実と相談体制の構築を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史的風致形成建造物指定に向け、候補となる建造物について、職員による簡易的な現地調査を行った。空き家・空き地バンクの、相談件数は物件提供と移住相談を合わせて250件、成約件数は40件程度の見込みである。空き家については、実際に内覧しているような確かな情報が得られるように動画による紹介を実施している。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	所有者は家屋の老朽化や愛着などから他人への提供に抵抗があり、該当地区の物件情報は増えない状況である。民間団体との連携による物件情報の収集や所有者への呼掛け、サポートの実施など、活用に向けた取組みについて検討が必要と考える。	
状況を示す写真や資料等		



空き家バンク動画配信



歴史的風致形成建造物現地調査

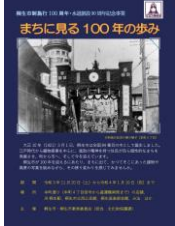
評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財保存活用地域計画等策定事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に存在する文化財を総合的に把握し、その保存及び活用に関する基本的な方針を定める「文化財保存活用地域計画」策定に向けた調査を行う。また、現在の市史は、編さんされてから50年以上が経過していることから、新たな市史の編さんにに向けた検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「文化財保存活用地域計画」策定に向け、指定・未指定を問わず地域に存在する文化財を的確に把握するための調査の実施について検討した。 市史編さんについては、令和4年度からの本格的な市史編さん事業開始に向け、事業案について庁内での検討を進めた。また、他自治体への照会や視察を通じて、自治体史編さん事業について情報を収集した。市史編さん体制について、桐生市史編さん審議会条例及び桐生市史編集委員会要綱を制定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		「文化財保存活用地域計画」策定に必要な文化財の保存と活用に関する課題・方針・措置について検討する。	
状況を示す写真や資料等			
			
館林市市史編さんセンターへの視察			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
歴史文化資料公開事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市の歴史文化に関する資料の収集、保全を進めるとともに、希少な郷土資料やゆかりのある人物などに関する資料を公開し活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・桐生明治館において本市の歴史文化に係る資料の展示を行った。 ・「近代化遺産の日」記念事業として、桐生明治館をはじめ市内の近代化遺産の一斉公開を実施した。 ・市制施行100周年記念事業として、市街地に残る歴史的建造物を説明パネルで紹介するとともに、大正から昭和時代の懐かしい写真を商店街に展示した。 ・絹燃記念館では、本市の歴史文化に係る資料展示の他、絹燃記念館の企画展として、「桐生にもある日本遺産」展や「絹が通った“粋な”通り“乙な”路地」展を実施した。 ・桐生歴史文化資料館への運営費補助金、企画展の広報きりゅうへの掲載(1回) ・桐生市立図書館所蔵の絵図面や古典籍のデジタルデータを作成し、その一部を群馬県立図書館HPの地域資料デジタルコレクションサイト上で公開した。また、図書館所蔵の古文書を紹介するデジタル版古文書講座「むかしの桐生にふれてみよう」を、桐生市立図書館HP上で開始した。 ・郷土資料調査事業では、白瀧神社の所在地でもある川内町の旧仁田山地区の調査を継続し、旧上仁田山村の名主家の文書の調査・整理を行った。 ・幕末に桐生新町の町役人(組頭)を務めた、新居喜左衛門の役用日記の調査を進め、その成果として『新居喜左衛門役用日記(二)釈文編』を作成・刊行した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		常設展や企画展など歴史文化に関する資料の公開については、文化財の活用を踏まえて工夫をしながら引き続き実施していきたい。
状況を示す写真や資料等		
近代化遺産の日記念事業「近代化遺産全国一斉公開 2021 IN桐生」 桐生明治館他の28施設を紹介   四辻の斎嘉(旧齋嘉織物主屋) 織物参考館“紫”(森秀織物工場ほか) 市制施行100周年記念事業「まちに見る 100年の歩み」 市街地に残る歴史的建造物の紹介と写真の展示   「まちに見る 100年の歩み」チラシJR桐生駅での写真展示   デジタル版古文書講座 「むかしの桐生にふれてみよう」   出羽松山藩酒井家が桐生新町に置いた陣屋 (御陣屋御地内分間之繪圖) 「桐生にもある日本遺産」展チラシ(絹燃系記念館)		

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財案内標識整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和40年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業、ぐんま絹遺産保存活用総合支援事業補助金		
計画に記載している内容	市指定文化財のうち、建造物や史跡などの看板設置が可能な物件について、その歴史的価値を解説した説明板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
登録有形文化財 水道関連施設、桐生織物会館旧館、新里町内の関の磨崖仏の文化財説明板の修繕を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	優先順位を考慮しながら進めていきたい。		
状況を示す写真や資料等			



水道関連施設 登録有形文化財説明板 板面交換



桐生織物会館旧館 登録有形文化財説明板 板面交換



関の磨崖仏 県指定重要文化財説明板 板面交換

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
観光案内等情報提供事業		現在の状況
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 桐生新町伝建地区等に訪れた観光客が歴史や文化を学びながら観光活動を楽しむ環境を整えていくために、行政、観光関係者、民間事業者、NPO法人、地域の住民などが連携して観光情報等を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・観光ガイドのお問い合わせについては、(一社)桐生市観光物産協会が運営する“織都桐生”案内人の会を紹介し、重伝建地区などを巡るツアーなどの対応を行った。
 ・まちなか観光の拠点としている桐生市観光情報センター「シルクル桐生」において、各種観光情報の発信や観光案内のほか、(一社)桐生市観光物産協会へ事業を委託し、地域おこし協力隊を活用しながら観光情報発信と物産の販売を実施した。

(令和3年4月～12月の来館者数5,484人(令和3年5月4日～6月20日、8月8日～9月30日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館)

・観光に関する多様なニーズへの対応や、様々な事例に対応できる「おもてなし力」を身につけるため、令和4年1月27日に観光大学を開催した。(YouTubeの桐生市チャンネルにてライブ配信 視聴者数118名)

・日本遺産の構成文化財(桐生市分6件)の周知を図るため、令和4年2月5日から13日まで、有鄰館を会場に「日本遺産の日」展を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

新型コロナウイルス感染症の影響で、桐生市観光情報センターが閉館し、情報発信等が出来ない時期があった。

状況を示す写真や資料等

観光ガイド実施の様子



シルクル桐生 観光案内の様子



日本遺産めぐりスタンプラリーチラシ



未来創生塾「日本遺産講座」の様子



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
文化財の保存又は活用の現況について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	適正な保存を図るため、本市では全ての指定等された文化財を対象に現状確認調査及び所有者・管理者への聞き取りを実施し、群馬県においては指定・登録文化財、重要な埋蔵文化財包蔵地に対して群馬県文化財保護指導委員による「文化財パトロール」を実施している。今後は、これまで実施してきた保存・管理に係る事業を継続するとともに、保存活用計画及び「桐生市歴史文化基本構想」の策定を進め、適正な保存活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・国、県、市の指定文化財の現状及び管理状況調査を実施したほか、所有・管理者あてに管理状況等の指導・確認を行った。 ・群馬県文化財保護指導委員による文化財のパトロール報告の指摘物件については、所有者・管理者宛に改善を依頼。 ・文化財建造物である市有施設の管理・活用を図った。ただし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館及び一部限定開館等の措置をとった。 ・有料観覧施設である絹撚記念館では、桐生の歴史文化に係る資料の他、企画展なども開催している。また、有鄰館では、絵画や写真などの作品展や文化活動の発表の場とするなど、様々な催しを開催し適切に活用している。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、有鄰館は8月を休館とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・建物の活用について安全な公開方法等の対策を引き続き検討する。 ・企画展やイベントなどの検討	
状況を示す写真や資料等			
 鷹林寺山門 現状変更 職員による指導  谷津館跡 職員による現状確認調査  桐生倶楽部 職員による現状確認調査  椿森のツバキ群 文化財調査委員による現状確認  有鄰館まつりの様子  有鄰館で行われたファッションウィークの様子			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の修理に関する取組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	保存修理工事など保存に伴う経費については、指定・登録文化財ともにそれぞれの補助金交付要綱に基づく支援措置を図り、目的や状況によっては、地域活性化や観光振興の補助事業を活用することにより保護を図る。また、重点区域内の建造物については、文化財保護法令における指定や登録のほかに景観法による景観重要建造物、景観重要樹木の指定や歴史的風致形成建造物の指定による景観の保全等、その保護を図る。重伝建地区においてはこれまで実施してきた伝統的建造物保存修理、防災対策事業等による文化財の維持管理とともに本町通り整備事業などによる地区内の景観形成を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・県指定史跡の彦部氏屋敷では、補助事業にて東側土塁の樹木の伐採作業を実施した。 ・県指定天然記念物の賀茂神社のモミ群では、補助事業にて枯れ枝の除去作業を実施した。 ・市指定天然記念物の椿森のツバキ群では、補助事業にて枯死した樹木の伐採と枝の剪定を実施した。 ・市指定重要文化財の桐生倶楽部会館では、5ヶ年事業として外壁・開口部・屋根等の修理工事を行っている。本年度は3年目で東側外壁、窓・扉等の開口部、軒周りの修繕を実施しているが、修理方法・方針等、随時助言・指導を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・指定及び登録文化財の原状把握や修理に伴う指導等を行うとともに、各種補助金の活用についても検討していく。 ・伝建地区では、地区住民の高齢化が進んでおり、災害時の対応など地域の体制を強化することが課題となっている。		
状況を示す写真や資料等			
			
彦部氏屋敷 東側土塁の樹木伐採		賀茂神社のモミ群 枯れ枝除去事業の職員による現地確認	
			
椿森のツバキ群 枯死した樹木の伐採 職員による現地確認			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
文化財の防災に関する取組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	所有者に対しては防災意識の向上を図るため訪問時に防災の呼びかけを行っている。毎年「文化財防火デー」にあわせて、文化財建造物や指定文化財を保管している建造物を対象に桐生市消防本部や消防団と連携して文化財消防訓練を実施し、近隣の住民にも参加を呼びかけ、啓発を強化している。また、桐生明治館や桐生市有郷館、彦部家住宅においては公開施設であるため独自に消防訓練を実施、桐生新町伝建地区においては「桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区防災計画」を策定し、地域住民参加による防災避難訓練を行っており、今後も継続して進めていく。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・毎年、「文化財防火デー」に合わせて文化財防火訓練を実施しており、今回は「鳳仙寺」で実施しているが、今回はコロナウィルス感染拡大防止のため中止となった。

・重要文化財である彦部家住宅については、防火対策として消防ポンプ、火災報知設備、避雷設備等の各種点検を行い、初期消火等訓練を実施した。

・桐生明治館でも消防通報から避難誘導、初期消火などの防災訓練を独自に行った。

・伝建地区では、火災発生時の早期発見、早期通報を図るべく地区内の建物に設置した、無線型住宅用火災警報器の作動試験を実施。また、地区住民の災害に対する認識など防災意識の向上のため防災訓練を企画したが、新型コロナウイルスの感染が拡大したため中止とし、代わりに、災害に対する心構えや備えなどテーマとしたチラシを作成し配布した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	防災訓練の実施方法等を検討し、毎年訓練を行う。

状況を示す写真や資料等



彦部家住宅 避雷設備保守点検



彦部家住宅 消火設備点検



伝建群だより(令和3年8月号:火災注意喚起)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目	現在の状況	
文化財の普及・啓発に関する取組み	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容 文化財の保護に対する正しい理解と意識向上を図るため、文化財の公開に努め、各種事業の実施、情報の発信を積極的に行う。「近代化遺産一斉公開」やスタンプラリーの開催、「文化財めぐり」、所管施設の無料公開といった子どもから大人まで幅広い世代が文化財に触れる機会を創出する。講座事業としては「立正大学デリバリー・カレッジ」や「出前講座」を開催し、文化財の知識と歴史的背景を伝える事業を継続して実施する。さらに、出前講座や歴史まちづくり講演会などの講座事業とともに見学会など各種イベント事業を開催することにより、文化財について幅広い知識を得ることのできるよう取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で ・毎年10月20日の「近代化遺産の日」記念事業として全国的に近代化遺産一斉公開を行っている。令和3年度は市内各所で活用されている鋸屋根工場をはじめとする近代化遺産28ヶ所を紹介し、買物や食事、染織体験等を通じて、文化財施設の周知・活性化を目指した。 ・講座事業については、生涯学習施設・教育施設、要望により、市の文化財を広く紹介するなど「出前講座」として実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	子どもから大人まで幅広い年齢層を対象として、文化財の公開や文化財を紹介するイベントなどを検討し、今後も実施していく。	
状況を示す写真や資料等		



近代化遺産の日記念事業 近代化遺産全国一斉公開in桐生
水道山記念館(旧配水事務所)



近代化遺産の日記念事業 近代化遺産全国一斉公開in桐生
上州菓匠 青柳ノコギリ屋根店(旧東洋紡織織物工場)



近代化遺産の日記念事業 近代化遺産全国一斉公開in桐生
朝倉染布株式会社



近代化遺産の日記念事業 近代化遺産全国一斉公開in桐生
Charrm(チャーム)(須裁織物)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

令和3年度	
報道等タイトル	年月日
2年ぶりGWの祭典 あすから有鄰館まつり	令和3年4月27日(火)
山上多重等を再び国宝に	令和3年5月11日(火)
これが黒保根の石造物 立正大文学部考古学研究室との調査の成果	令和3年5月12日(水)
後藤織物の第2回競売 桐生市内の会社が落札	令和3年5月27日(木)
「桐生ブランド」ここから発信」「シルクル」新装オープン	令和3年7月5日(月)
桐生祇園祭「神事」23日に実施へ	令和3年7月6日(火)
「桐生の日本遺産」展始まる 絹襷記念館 スタンプラリーも	令和3年7月21日(水)
後藤織物と旧須藤邸を未来へ	令和3年10月27日(水)
100年前に思いをはせて 案内人の会桐生を歩く第2弾	令和3年10月28日(木)
「えびす講」来月16～20日に	令和3年10月27日(水)
往年の名車が桐生を駆けめぐる 7日クラシックカーフェス代替で	令和3年11月4日(木)
「笠盛パーク」初公開 工場ツアー、アウトレットも	令和3年11月5日(金)
冬の訪れ えびす講開幕	令和3年11月16日(火)
お宝ざくざく えびす講きょうから交通規制	令和3年11月19日(金)
28件をリストアップ 桐生市ですすから一斉公開	令和3年11月19日(金)
歴史的建造物 動画で見学を	令和4年1月19日(水)
5日から「日本遺産ウィーク」	令和4年2月2日(水)
重伝建地区 “石畳化” へ試験施工	令和4年2月2日(水)
「歴史的風致維持向上計画」の形成建造物新たに3件指定	令和4年2月2日(水)
歴史的風致形成建造物に指定標識	令和4年2月12日(土)
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
新型コロナの影響により、前年度は多くのイベント等が中止となってしまったが、今年度は感染症対策を講じた上で、新型コロナ前と同規模で開催されるイベント等もあり、まちの賑わいが少しずつ戻ってきたように感じた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	今後も引き続き、コロナ禍でもできる事を模索しながら、歴史まちづくりへの関心や理解を高めるための情報提供や情報発信に努める。
状況を示す写真や資料等	
 令和3年5月11日付 桐生タイムス  令和3年5月27日付 桐生タイムス  令和4年2月2日付 桐生タイムス  令和4年2月2日付 桐生タイムス  令和4年2月12日付 桐生タイムス	

評価軸⑥-1 その他(効果等)	
評価対象年度 令和3年度	
項目	
ファッションタウン桐生推進協議会との連携について	
計画に記載している内容	文化財の保存活用に関わり、地域住民が主体となって組織されている各団体との連携強化や官民協働による保存活用を図るとしている。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付	
ファッションタウン桐生推進協議会は、「織都・桐生」が育んだ歴史、文化、風土をいかした“まちづくり”を行うファッションタウン事業の推進母体として発足した組織で、100名以上のメンバーで構成されている。 歴まち認定後には、市民を対象にしたバスツアー(H30、R1)やまち歩きツアー(R3)を共催し、歴史的風致形成建造物や市内に点在する歴史的遺構等をコースに組み込んでもらう等連携を図った。ツアーは、毎回募集開始と同時に定員に達し、キャンセル待ちが出る程の人気で、市民へ向けた歴史まちづくりを発信することが出来た。 また、同協議会では写真コンテスト等のまちづくりに関連した様々な活動を行っている。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	引き続き、歴史的風致の維持向上につなげていくため、同協議会との連携や情報交換を図っていく。
状況を示す写真や資料等	
 まち歩きツアーの様子(R3) 桐生の歴史を再発見する わがまち風景まち歩きツアー 桐生の歴史や文化を感じる名所と「わがまち風景賞」を受賞した物件を巡る、まち歩きツアーを実施します。 桐生組屋敷の発祥地である「衆生院」に建立された常設灯(美和神社境内に移設)を見学するほか、山手通りに沿って桐生組屋敷や旧桐生家住宅などを訪問します。昼食後は、今後の保存と利活用が期待される後継建造物の建物見学を予定しています。 なお、新型コロナウイルス感染拡大状況により、やむを得ず延期または中止となる場合があります。※徒歩での散策が中心ですので、歩きやすい靴や服装でご参加ください。 期日＝11月6日(土) 時間＝午前9時から午後3時30分まで(予定) 集合場所＝衆生院(美和神社境内) 女神倉付近 見学場所＝美和神社境内、桐生組屋敷、旧桐生家住宅、桐生町、後継建造物など(予定) 募集人数＝20人(先着順) 費用＝1,500円程度(昼食代・見学料・保険料など) ※当日現金します 申し込み＝10月11日(月)午前9時から、電話で桐生組屋敷所(☎45-1201)へ。  R3まち歩きツアー募集情報 広報きりゅう10月号	

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 桐生市歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時: 3月(書面開催)	
(コメントの概要) ・本町通り石畳化とあるがこれはいつの時代に戻そうとしているのか。水路遺構の発掘調査された石などをどこに移動するのか。またそれらは公開される予定はあるのか。 ・市史編纂は紙媒体ではコストがかかりすぎるのでデジタルにした方が良いのではないかと考えている。調査が進めばその都度更新ができる。画像や映像の資料を作成するのも大切だと考えている。 ・ここ5～6年登録文化財が登録されておらず、文化財の現状確認が多いように見える。桐生市内に該当物件がなくなったと思えないが、文化財を利用したまちづくりは他の地域でも数多く見られる。所有者や利用者の意向を反映して、文化財として価値を高めた上で、活用を促す方がとくに建造物にとって良いのではないかと考えている。民間に丸ごと任せてしまうと最終的に消費されてしまうおそれがあると思う。 ・全般的に、計画通り進捗しているを支持するが、事業年度内であり計画年度内の現状ではあるが、様々な制約からの遅々たる歩みが明らかであり、スピード感を持って進捗させてもらいたい。市民目線からは唯一「幸橋線整備」が拡幅され実感が出来る。 ・評価軸③-11 P14 織物体験事業は、一連の進捗評価シートのなかで最も記載内容が充実している。この事業が活発に進められたことが窺われるとともに、事業に対する担当者の努力と熱意が伝わり、大きな成果を得ていると理解できる。 ・本意見書には事後評価と今後の改善点等が求められている。その一環として、本協議会として偏らずに評価がしやすくなるよう、「進捗評価シート」への充実した記入に努めていただきたい旨の意見を以下の通り述べる。 ①「定性的・定量的評価」の記載は、やってみて実際はどうであったのか、その現実のリアルさや努力が 滲み出るような「自由記述」がほしい。実施事項とともにそれらを示すことが、協議会の理解、ひいては市民への理解と普及につながる。 ②「進捗状況」の記載は、織物体験事業が“計画どおり進捗していない”とする以外、すべてが“計画どおり進捗している”となっているが、コロナ対策により、中止や実施方法を更した等、必ずしも計画どおり進捗していない場合を含んでおり、それなりの対策をとっている場合が大半だと推察されるので、そこは面倒でも、誤解されないよう変更の正しい記述がほしい。 ③「検討にあたっての課題と対応方針」の記載は、記述が空白の例、実施内容の一部が記載された事業、課題を挙げるにとどまる事業、課題とともにその対応方針まで挙げている事業とがあり、このような不揃いな状態にあると、全体を等しい目で評価することができないが、一定の水準の内容となるよう事前調整が望まれる。	
(今後の対応方針) ・各事業の実施にあたっては、関係する部署や施設等と連携を図りながら積極的に進めていく。 ・進行管理評価シートの内容を充実させ、有益な意見を頂戴できるよう見直しを図っていく。 ・歴史的建造物の文化財登録や、保存、活用について、所有者等と調整しながら対応していく。 ・今回いただいた評価を関係する部署等と共有し、各事業の見直しを推進していく。	